



南条っ子

南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和4年5月30日発

第12号



〇 ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネット週間の結果

5月12日(木)～18日(水)までの1週間、今年度第1回目のノーテレビ・ノーゲーム・ノーネット週間に取り組んでもらいました。満点は35ポイント、目標は、30ポイント以上です。

5ポイント:利用時間を1時間以内にし、読書もした。

4ポイント:利用時間を1時間以内にした。

3ポイント:利用時間を2時間以内にし、読書もした。

2ポイント:利用時間を2時間以内にした。

1ポイント:利用時間が2時間をこえたが、読書はした。

0ポイント:利用時間が2時間をこえ、読書もしなかった。

今回、281人が挑戦し、目標の30ポイント以上を達成した児童は177人(63%)でした。また、満点の35ポイントは66人いました。昨年の第1回目は、目標の30ポイントを達成した児童が265人中147人(55.5%)、満点の35ポイントの児童が48人でしたので、昨年よりも良いスタートが切れたと思います。

次回の第2回目は、6月28日(火)～7月4日(月)に実施する予定です。今回、目標を達成できた人は次も目標を達成できるように、思うような結果を出せなかった人は、反省を生かして頑張りましょう。

<本人の振り返り>

- ・6年生になってから初めてのノーテレビデーで、最初から35ポイントだったのがうれしかったです。また、35ポイントを取りたいです。
- ・テレビを見る時間を少なくしたおかげで、たくさん読書ができたので良かったです。
- ・4年生になって、35ポイント取るぞとやる気でやったらできました。
- ・ゲームやテレビよりも、もっと楽しい遊びがあるんだなと思いました。
- ・やっと30ポイントを取れて、うれしかったです。

<お家の人から>

- ・初めての35ポイント。よくできました。この調子でがんばってください。
- ・毎日、テレビやゲームをがまんして、すごがんばりました。
- ・とてもよくがんばりました。図書館から借りてきた本を読んだり、時間を計算しながらテレビを見たり、上手にメディアと付き合うことができました。
- ・平日はテレビ、ゲームをせずに過ごせましたが、土日は時間を気にせず見てしまいました。

〇 コシアカツバメ

日本では古くから「ツバメが巣を作ると縁起が良い」と言われ、商売繁盛のシンボルや害虫を食べる益鳥(人間・農作物などに利益をもたらす鳥)としてツバメを歓迎してきました。

その中で、コシアカツバメというツバメをご存知でしょうか? 名前のとおり、腰の部分が赤く(オレンジ色)なったツバメです。福井県ではツバメ、イワツバメ、コシアカツバメの3種類のツバメを見ることができますが、福井県域準絶滅危惧種に選定されているのがコシアカツバメです。南越前中学校は、コシアカツバメの生息数が多いことで県内有数の場所であり、身近で簡単に見ることができます。また、南条大橋には、イワツバメの巣があります。



コシアカツバメ



ツバメ

※腰のあたりの色が違います。



イワツバメ



コシアカツバメの巣



ツバメの巣

※巣の形が違います。(ヒナが見える、見えない)



イワツバメの巣

コシアカツバメが多く生息する地区の住民としては、コシアカツバメが絶滅しないように、ぜひ守っていききたいものです。

【文科省より注意喚起】 「ジャガイモによる食中毒を予防するためにできること」

ジャガイモの芽や緑色になった皮の部分には、ソラニンやチャコニンという天然毒素が、多く含まれています。これらを多く含むジャガイモを食べると、吐き気や下痢、おう吐、腹痛、頭痛、めまいなどの食中毒の症状が出ることがあります。

※2015年1月22日、奈良県内の小学校で、校内で栽培・収穫したジャガイモを粉ふきいもにして食べた51名のうち31名に吐き気、腹痛等の症状が出た。なお、残った粉ふきいもを分析したところ、ソラニン類が検出された。

⇒教師の声かけ(「皮の緑色の部分を取り除くように」)で防げたケースですが・・・

〇調理するとき

- ・芽とその周りの部分は取り除く。
- ・皮はできるだけむく。特に緑色の部分は、厚めにむき、その周囲もしっかりむく。

〇食べる時

- ・未熟なイモや小さなイモを皮付きで調理したら、皮はできるだけ残す。たくさん食べない。
- ・苦みやえぐみを感じたら食べない。